

週目点

川本 裕子 早稲田大学教授



▶統一地方選の後半戦

政党は政策課題 提起を

統一地方選の後半戦が二十
二日、投票日を迎える。今回
の選挙は七月の参院選の前哨
戦としても注目を集める。無
党派層の支持を取り込むため
に政党色を消す「政党隠し」
も多いが、地方選においても
全国共通の政策課題があるこ
とを忘れるべきではない。

最も典型的な例は公共事業
の問題。「もう道路はたくさん」と、国民の間に削減要望
は根強い。今後、社会保障の
財政負担論議の上でもその実
現は不可避だろう。削減にあ
たっては国だけでなく地方自
治体の取り組みも欠かせな
い。しかし多くの地方で、役
所と業界、地方議会の族議員
が緊密な関係を保つ古い体質
が国以上に温存されている。
公共事業改革の動きはまだま
だ緩慢だ。政治的にも現状打
破が求められている。

政府の構造改革は地方でも
未完で、地方が抱える公的債
務の累積も高い水準にある。
各政党は国・地方に通じる大
きな政策課題を掲げて有権者
の信を問うべきだ。

(C) 日本経済新聞社 無断複製転載を禁じます。